AGather 自動データ収集

操作説明書

２０１８年４月

目次

1 概要 2
1.1 動作環境 2
1.2 動作時機器構成 2
2 ユーザー操作 4
2.1 基本画面 4
2.2 メニュー(フローティングメニュー) 5
2.3 基本機能その１ 7
2.3.1 設定内容表示 7
2.4 基本機能その２ 8
2.4.1 ジョブメニュー 8
2.4.2 ジョブメニューの登録 9
2.5 基本設定 10
2.5.1 基本設定 10
2.5.2 LAN/COM 選択 11
2.5.3 COM 設定 12
2.5.4 LAN 設定 13
2.5.5 メール宛先設定(**オプション機能**) 14
2.5.6 自動取得設定 15
2.5.7 FTP 設定 16
2.5.8 通信基本設定 17
2.6 拡張機能 18
2.6.1 ランチャージョブ登録 18
2.6.2 スケジュールジョブ登録 19
2.6.3 メール送信／音声再生ジョブ登録(メール関連はオプションです) 20
2.6.4 テロップ用基本設定 22
3 その他 23
3.1 ユーザー・サポートのご案内 23
3.2 バージョンアップおよび免責事項 23
3.3 ライセンスについて 23
A1.初回起動におけるアクセス許可確認画面 24
A2.メール送信／音声再生ジョブ登録について 25
A3. コマンド(SENDUDPCMD.exe)の起動方法 26

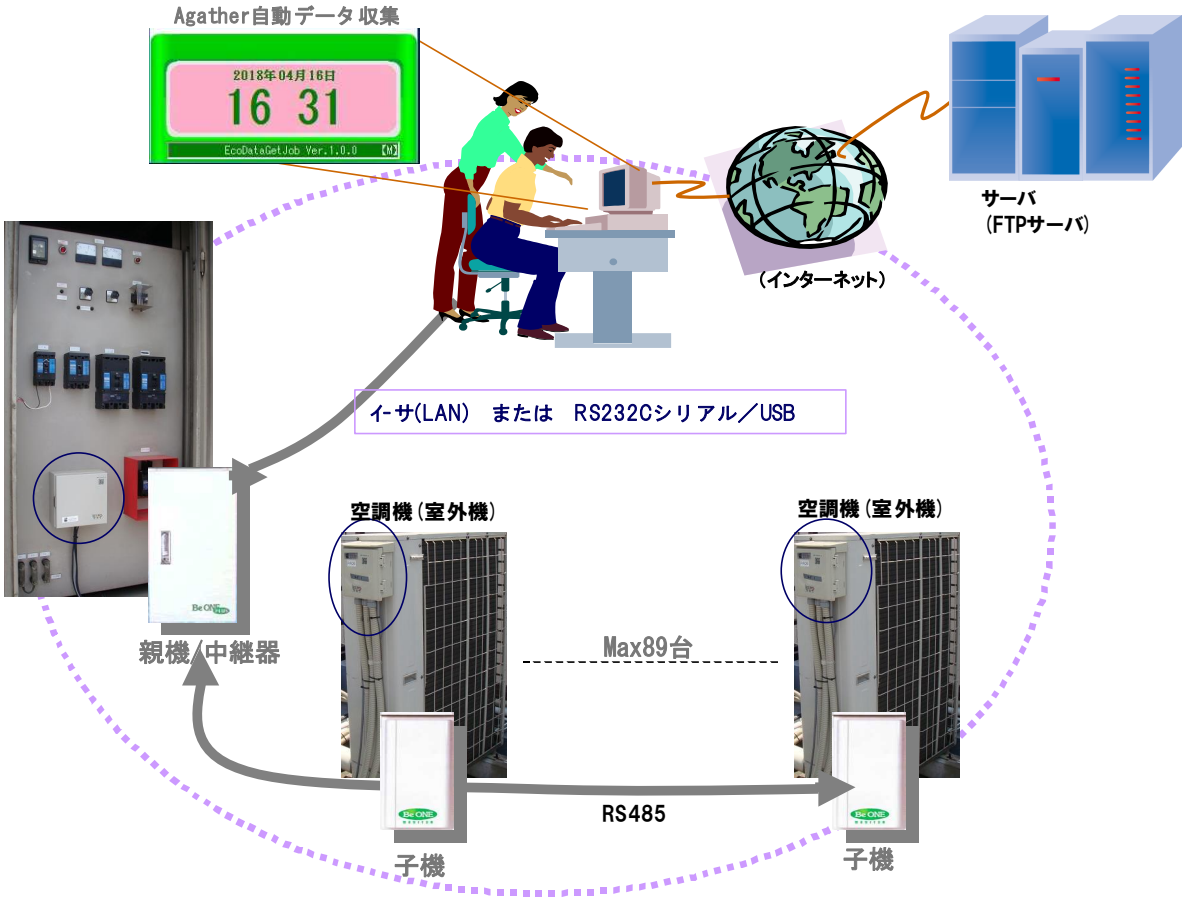
1 概要

本マニュアルはエコサーベイの使い方について説明します。

1.1 動作環境

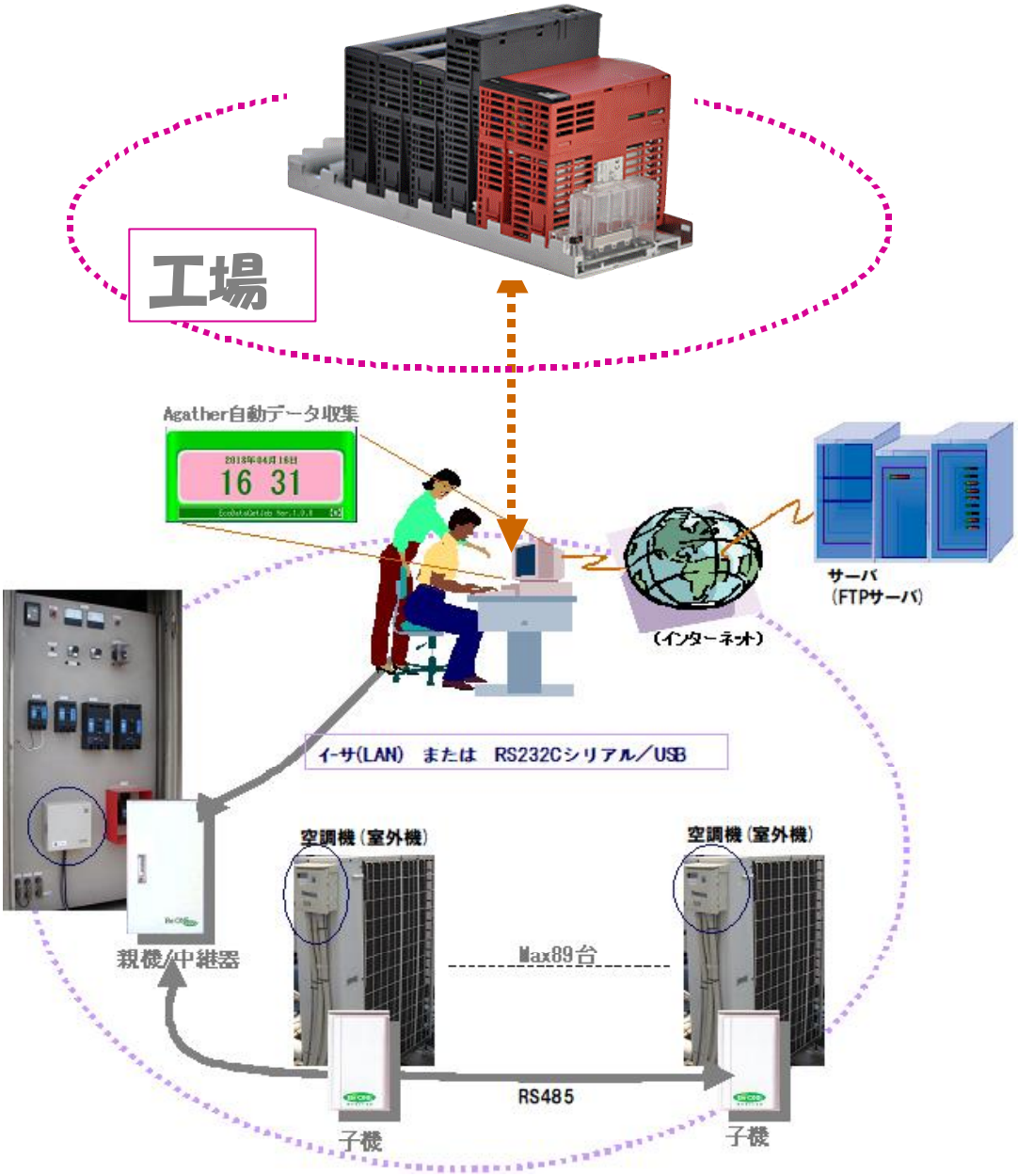
タイプ	項目	内容
ソフトウェア	OS	Window s 7 以降
ハードウェア	CPU	.NET フレームワーク 4.0 が動作する PC 環境
	メモリー	２ＧＢ 以上
	HDD	空き領域：１０ＧＢ 以上

1.2 動作時機器構成



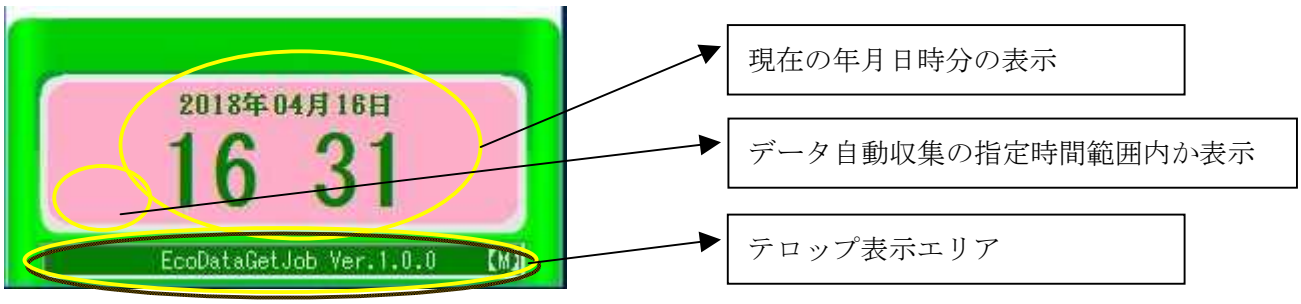
注）FTPアップロード機能をを利用するする場合、インターネットインフラが必要です。

また、カスタマイズにより工場の設備(PLC/シーケンサ)と連動することができます。



2 ユーザー操作

2.1　基本画面



上記画面は、PC 画面の右下に表示されます。

※上記の基本画面は設定(基本設定)により非表示にすることができます。
非表示の場合でも PC 画面の右下のタスクバーにアイコンが残っていますので
そのアイコンを右クリックすれば同じようにフローティングメニューを表示させることが
できます。基本設定で再度「表示」モードに戻すことができます。

※テロップは、本ソフトで規定されたテロップ用テキストファイルのフォーマットであれば
表示されます。
テロップテキストファイルを取得する URL およびその URL からダウンロードするテキストファイル
のファイル名は、「テロップ用基本設定」画面にて登録します。
(本ソフトのバージョン No などの表示テロップとしてとして流れます)

2.2 メニュー(フローティングメニュー)

メニューは基本画面を右クリックすることで表示させることが出来ます。

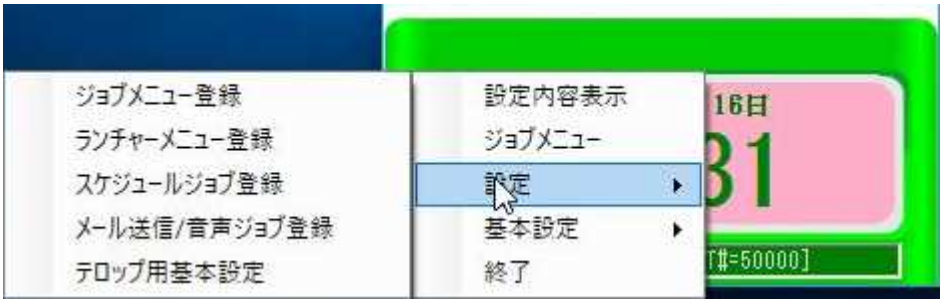
基本機能として、

1．基本機能その１：エコデータ自動収集
　※設定内容表示：自動取得のための設定内容
2．基本機能その２
　※ジョブメニュー
　※ジョブメニュー登録

基本設定：基本機能のための基本設定

1．基本設定
2．LAN/COM 選択
3．COM 設定
4．LAN 設定
5．メール宛先設定(オプション機能)
6．自動取得設定
7．FTP 設定
8．通信基本設定

また、「設定」サブメニューは下記の通りです。（拡張機能用）



拡張機能として、

１．各拡張機能用登録

※ランチャーメニュー登録

※スケジュールジョブ登録

※メール送信／音声ジョブ登録

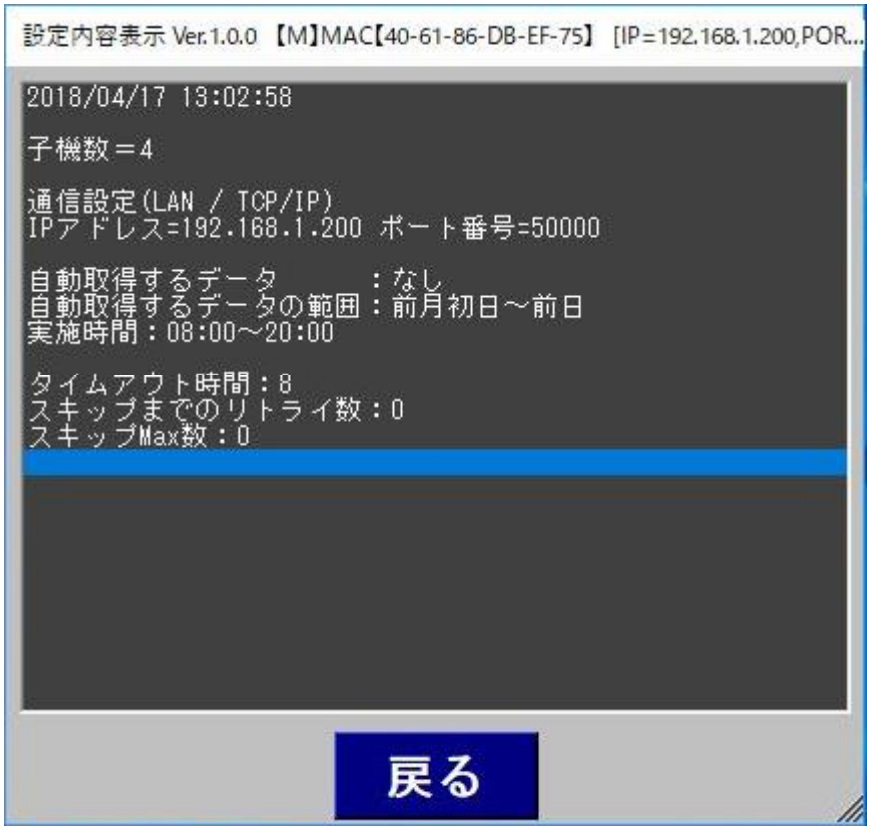
２．基本設定関連

※テロップ用基本設定

※(全体の)基本設定

2.3 基本機能その１

2.3.1 設定内容表示



メニューの「イベント一覧」を選択すると、上記のようにイベント一覧表示画面が表示されます。
下記項目が表示されます。

１）No　　シーケンス番号
２）メール送信年月日時分
３）送信宛先
４）イベント年月日
５）イベント内容

2.4 基本機能その２

2.4.1 ジョブメニュー

メニューの「ジョブメニュー」を選択すると、下記のようにジョブメニュー画面が表示されます。

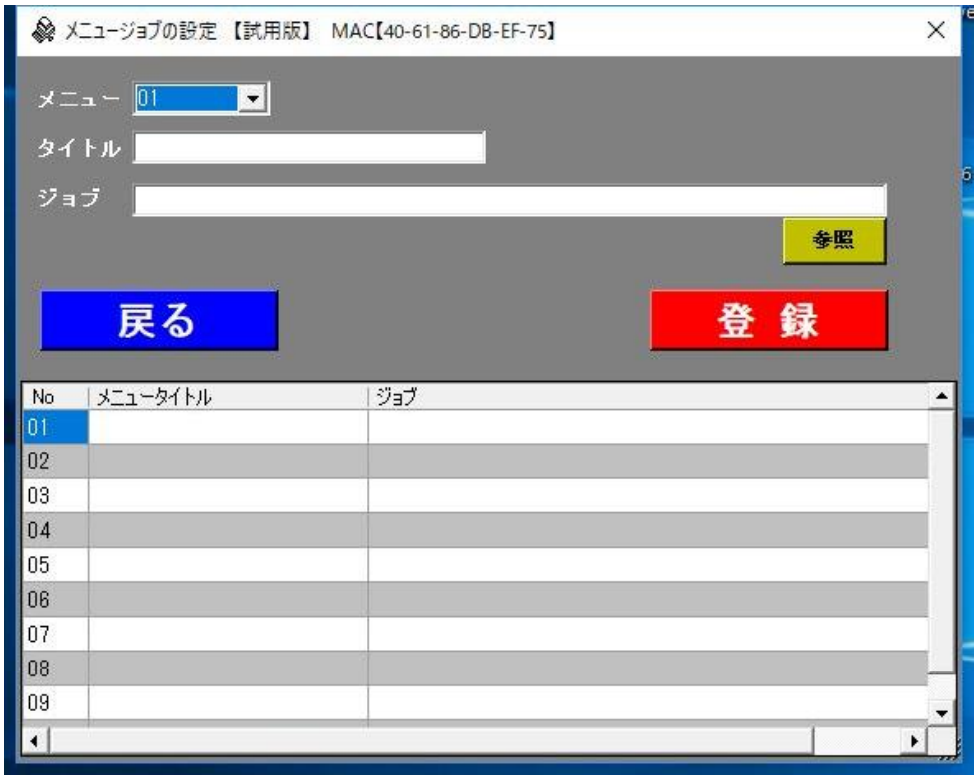
上記は「エコデータ取得」ジョブが登録されている画面例です。
「エコデータ取得」は、画面操作により親機または中継器経由でデータを取得するジョブです。
ジョブメニューは、設定サブメニューの「ジョブメニュー登録」画面によって登録します。
「SHUTDOWN」および「REBOOT」は固定メニューとして登録されます。

※「リモートモード」
リモートモードをチェックすると、ジョブメニューのリモートモードとなります。
自 PC のメニュージョブではなく、リモート PC のジョブを実行するようにコマンド送信を行います。
リモート PC がリモートによって指定ジョブを実行するために、
１）本ソフトが実行状態であること
２）メニュージョブを予め登録しておく必要があります。
注意）
リモートモードによって、実行するリモート PC のジョブメニューはあくまでもジョブ No のみの指定になります。従って、リモート PC において自 PC と異なるジョブを登録した場合、その異なったジョブが起動されます。

備考）リモートコマンドは、UDP ブロードキャスト(ポート 50001)によって行いますので
セキュリティによっては送受信許可を与える必要があるかも知れません。

2.4.2 ジョブメニューの登録

「設定」サブメニューの「メニュージョブの登録」を選択すると下記のように画面が表示されます。



下記項目を登録します。

1）メニューNo

１０個まで登録することが出来ます。（１～１０）

2）タイトル

ジョブメニューに表示される各ジョブのタイトルです。

Max12 文字まで登録できます。

3）ジョブ

実行／起動するプログラム名をパス付で登録します。

例えば、「C:¥Windows¥NotePad.exe」のように登録します。

※「参照」ボタンのクリックで、「ファイルを開く」ダイアログ画面が表示され
起動したいジョブを指定します。

※Windows エクスプローラ等からファイルをジョブのテキストボックスに
ドラッグ・アンド・ドロップしても登録することが出来ます。

※「登録」ボタン

「登録」ボタンのクリックで、上記の操作にて設定した内容の登録を行います。

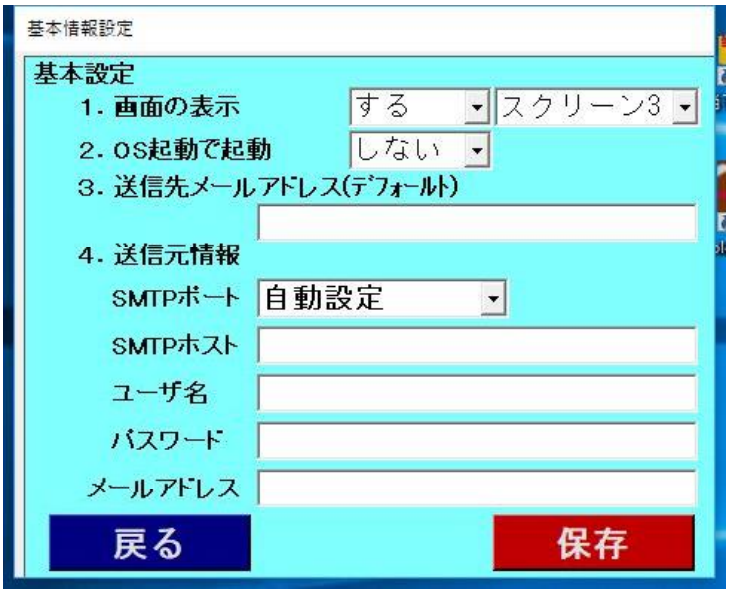
※「キャンセル」ボタン

本画面を閉じて、自動データ収集画面に戻ります。

2.5 基本設定

2.5.1 基本設定

「基本設定」サブメニューの「基本設定」を選択すると下記のように画面が表示されます。



下記項目を登録します。

1）画面の表示(する／しない)

「する」で基本画面を表示、「しない」で非表示にします。

非表示モードにおいても、画面右下のアイコンを右クリックして基本設定画面を表示することが出来ます。

右側のスクリーン選択は、は、３種類のベース画面の中から選択できます。

2）OS 起動で起動(する／しない)

「する」で PC の起動時に、本ソフトも起動されます。

3）送信先メールアドレス(デフォールト)

本設定によりデフォールト送信先を指定しておくことが出来ます。

4）送信元情報（**オプション機能**）

メール送信に必要な基本情報を設定します。

「SMTP ポート」は基本的に「自動設定」にしてください。

※「保存」ボタン

「保存」ボタンのクリックで、上記の操作にて設定した内容の登録を行います。

※「キャンセル」ボタン

本画面を閉じて、自動データ収集画面に戻ります。

2.5.2 LAN/COM 選択

「基本設定メニュー」より「通信選択」を選択すると上記のように画面が表示されます。
通常の親機／中継器の場合、COM ポートを選択します。
LAN 対応親機／中継器の場合、LAN(イーサ)を選択します。
※「登録」ボタン
　「登録」ボタンのクリックで、上記の操作にて設定した内容の登録を行います。
※「キャンセル」ボタン
　本画面を閉じて、自動データ収集画面に戻ります。

2.5.3 COM 設定

「基本設定メニュー」より「COM 設定」を選択すると上記のように画面が表示されます。
「通信選択」において。COM ポートを選択した場合、本画面にて、COM ポートの設定を行う必要があります。
デフォールトで、PC 通信ポートが「COM３」、PC-親機通信速度が 38400 になっています。
特別な環境を除いて、基本的に通信速度(PC-親機通信速度)は 38400 とします。
通信ポートについては、PC において COM ポートのドライバーによって構成された COM ポートをここに設定します。
備考）PC の COM ポートについては、Windows のコントロールパネルにおいて、デバイスマネジャー画面を開いて確認することができます。
(Windows7 の場合、コントロールパネル->ハードウェアとサウンド->デバイスとプリンタの中からデバイスマネジャーを選択)
※「登録」ボタン
「登録」ボタンのクリックで、上記の操作にて設定した内容の登録を行います。
※「キャンセル」ボタン
本画面を閉じて、自動データ収集画面に戻ります。

2.5.4 LAN 設定

「基本設定メニュー」より「LAN 設定」を選択すると上記のように画面が表示されます。
「通信選択」において。「LAN(イーサ)」を選択した場合、本画面にて、TCP/IP の設定を行う必要があります。
基本的に IP アドレスは「192.168.1.200」、ポート No は「50000」とします・
設置場所の諸事情により IP アドレスは指定の IP アドレスに変更する必要があった場合、割り当てられた IP アドレスを設定します。
ポート NO についてはほとんどのケースにおいて 50000 で問題はないと思われます。
※「登録」ボタン
　「登録」ボタンのクリックで、上記の操作にて設定した内容の登録を行います。
※「キャンセル」ボタン
　本画面を閉じて、自動データ収集画面に戻ります。

2.5.5 メール宛先設定(**オプション機能**)

「基本設定メニュー」より「メール宛先設定」を選択すると上記のように画面が表示されます。
メール送信宛先として最大８箇所まで登録することができます。
メール送信を行う場合、少なくとも１つの宛先を登録する必要がります。

※「登録」ボタン
　「登録」ボタンのクリックで、上記の操作にて設定した内容の登録を行います。
※「キャンセル」ボタン
　本画面を閉じて、自動データ収集画面に戻ります。

2.5.6 自動取得設定

「基本設定メニュー」より「自動取得設定」を選択すると上記のように画面が表示されます。

※自動取得内容

「なし」、「デマンド」、「エコデータ」および「デマンド&エコ」のなかから選択します。

※自動取得範囲

「なし」、「前日のみ」、「前月」および「前月初日～前日」のなかから選択します。

デマンドデータの場合、「前月」限定になります。

※時間範囲

エコデータ自動取得をを行う時間帯(範囲)を from～to で指定します。

from は必ず to よりより小さい値を入れてください。

従って、例えば **23:00～06:00** の指定は出来ません。

※子機数

親機／中継器に繋がっている子機の数をを指定します。

データ取得は、CH01 から子機数で指定した数の CH に対して行います。

※「登録」ボタン

「登録」ボタンのクリックで、上記の操作にて設定した内容の登録を行います。

※「キャンセル」ボタン

本画面を閉じて、自動データ収集画面に戻ります。

2.5.7 FTP 設定

「基本設定メニュー」より「FTP 設定」を選択すると上記のように画面が表示されます。

本プログラムでは、取得したエコデータを FTP で指定のサーバへアップロードすることができます。

※ホスト名、ユーザー、パスワード

FTP でアップロードするにあたって必要なサーバ(FTP サーバ)の情報を入れます。

※自動実施、時分

FTP アップロードの時間指定による自動実施の有無を設定します。

自動実施の場合、「自動」のチェックボックスをチェックします。

その時の、「時」と「分」も設定します。

※WinSCP 使用有無の設定

現バージョンにおいて、「WinSCP 使用」のみの選択になります。

「WinSCP 使用」は、WinSCP の機能を利用してアップロードをを行います。

そのため、別途、フリーソフトである WinSCP をインストールする必要があります。

※「UPLOAD テスト」ボタン

本来、自動実施で実行するする TP アップロードを実行します。

※「登録」ボタン

「登録」ボタンのクリックで、上記の操作にて設定した内容の登録を行います。

※「キャンセル」ボタン

本画面を閉じて、自動データ収集画面に戻ります。

2.5.8 通信基本設定

「基本設定メニュー」より「データ取得パラメータセット」を選択すると上記のように画面が表示されます。

注：ここで設定する内容は、基本的に変更する必要はありません。
　　値を変更するとによって動作保証できない場合がありますのでご注意ください。

※タイムアウト
　親機／中継器のやり取りおいて、タイムアウト時間を秒で指定
※スキップまでのリトライ回数
　エコデータ取得時、エラーが発生した場合、該当 CH の該当日ののデータ取得をスキップする
　までのリトライ回数を設定します。
※スキップ最大回数
　上記のスキップの最大数を設定します。
　最大数に達したら、、データ取得処理をエラーで終了します。

※「登録」ボタン
　「登録」ボタンのクリックで、上記の操作にて設定した内容の登録を行います。
※「キャンセル」ボタン
　本画面を閉じて、自動データ収集画面に戻ります。

2.6 拡張機能

2.6.1 ランチャージョブ登録

「設定」サブメニューの「ランチャージョブの登録」を選択すると下記のように画面が表示されます。

下記項目を登録します。

1）メニューNo

１０個まで登録することが出来ます。（1～１０）

2）タイトル

ランチャーメニューのメモとして登録されます。

Max12 文字まで登録できます。

3）ジョブ

実行／起動するプログラム名をパス付で登録します。

例えば、「C:¥Windows¥NotePad.exe」のように登録します。

※「参照」ボタンのクリックで、「ファイルを開く」ダイアログ画面が表示され
起動したいジョブを指定します。

※Windows エクスプローラ等からファイルをジョブのテキストボックスに
ドラッグ・アンド・ドロップしても登録することが出来ます。

2.6.2 スケジュールジョブ登録

「設定」サブメニューの「スケジュールジョブの登録」を選択すると下記のように画面が表示されます。

下記項目を登録します。

1）ジョブ No

１０個まで登録することが出来ます。（1～１０）

2）実行時分

指定ジョブはこの時分に実行されます。(年月日のフィールドは「*」を登録)

3）ジョブ

実行／起動するプログラム名をパス付で登録します。

例えば、「C:¥Windows¥NotePad.exe」のように登録します。

※「参照」ボタンのクリックで、「ファイルを開く」ダイアログ画面が表示され
起動したいジョブを指定します。

※Windows エクスプローラ等からファイルをジョブのテキストボックスに
ドラッグ・アンド・ドロップしても登録することが出来ます。

2.6.3 メール送信／音声再生ジョブ登録(メール関連はオプションです)

「設定」サブメニューの「メール送信／音声再生ジョブ登録」を選択すると下記のように画面が表示されます。

下記項目を登録します。

1）ジョブ No

１０個まで登録することが出来ます。（１～１０）

2）メールタイトル

イベントが発生した時に送信するメールのタイトルを登録します。

メールの本文はブランクとします。

3）音声

再生する音声ファイル(WAV ファイル)を指定します。

イベントが発生した時に、メール送信すると同時に、音声を再生します。

音声指定は必須アイテムではありません。

※イベント発生について

イベントを発生させるコマンドを起動することでイベントが発生します。

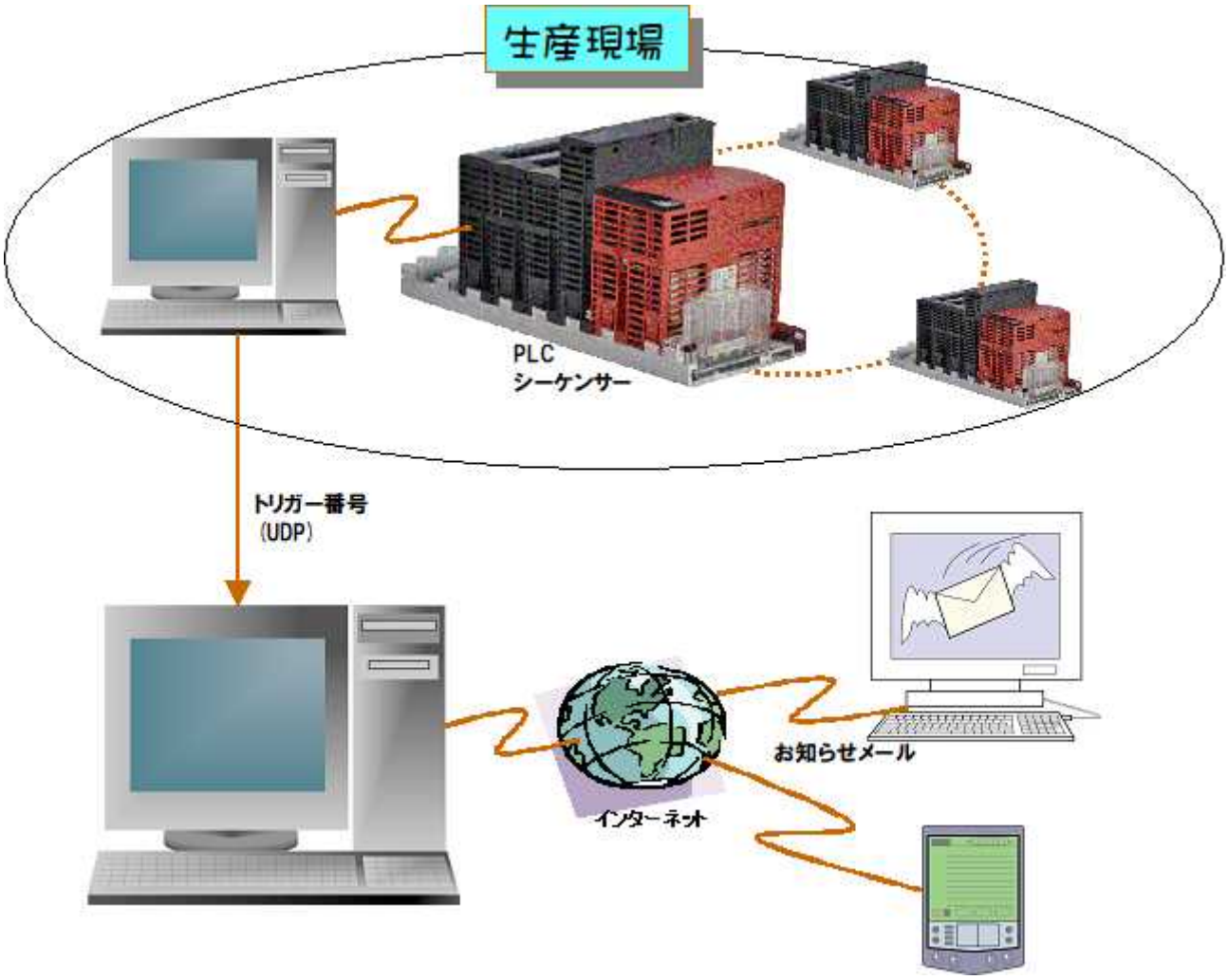
コマンドは、同一 PC またはリモート PC にて実行しても同じようにイベントを発生させることが出来ます。

コマンド(SENDUDPCMD.exe)は本ソフトと一緒にバンドルされます。

コマンド(SENDUDPCMD.exe)の起動方法は付録 A3 に記述します。

備考）リモートコマンドは、UDP ブロードキャスト(ポート 50001)によって行いますので
セキュリティによっては送受信許可を与える必要があるかも知れません。

本機能使用時の構成例です。(注：メール送信あオプション／カスタマイズ機能)



2.6.4 テロップ用基本設定

「設定」サブメニューの「テロップ用基本設定」を選択すると下記のように画面が表示されます。

下記項目を登録します。

1）URL

テロップ用テキストファイルをダウンロードするURLを指定します。

例えば、「http://xxxxxxxx.com」のように指定します。

2）ファイル名

上記URLからダウンロードするテロップ用テキストファイル名を指定します。

例えば、「TELOP.TXT」。

3 その他

3.1 ユーザー・サポートのご案内

本製品使用期間中に問題が発生した場合は、下記あてE-mail でご質問下さい。直接電話やご来社によるサポートは行っておりません。
また、出張によるサポートも行っておりませんのであしからずご了承下さい。
お問い合わせアドレス
E-mail：support@javasys.co.jp
ご要望および不具合報告は受け付けておりますが
本パッケージソフトのバージョンアップタイミングは不定期です、予めご了承ください。

3.2 バージョンアップおよび免責事項

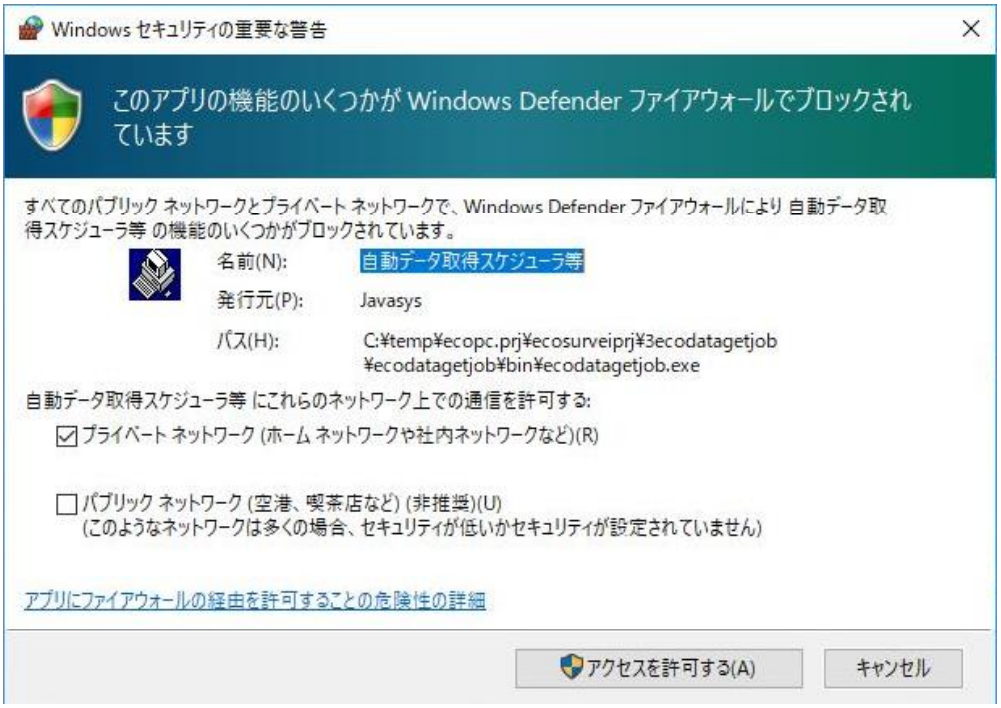
※バージョンアップについて
１．弊社はお客様に予告なしに改良の為に本ソフトウェアの変更を行うことがあります。
２．弊社は本ソフトウェアを改良した新しいバージョンのソフトウェア（以下「新バージョン」という）をお客様に対して有償または無償で提供することができます。
※免責事項
弊社は、本ソフトウェアの使用、または使用できないことにより生じた損害に関していかなる責任も負わないものとします。

3.3 ライセンスについて

本ソフトは、１PC に対して１ライセンスが必要です。
上記の初期設定後、**「C:¥AUTOGATHER¥」**
フォルダー直下に「LIC.INI」というファイルが作成されます。
「KEY」に対応したライセンスをこちらで生成します。　客先名および「KEY」の
内容を伝えて頂くか、「KEY」情報の LIC.INI ファイルを送って頂ければ
ライセンス情報の入っている LIC.INI ファイルをお送りさせて頂きます
のでそれを再度「C:¥**AUTOGATHER¥**」に格納して頂ければ手続き完了となります。
(メイン画面のタイトルバー上から「試用版」の文言が消えます)

注）試用版には試用期間があります。
試用期間内は、標準版同様に動作します。
オプション機能、標準版に含まれておりません。

A1. 初回起動におけるアクセス許可確認画面



本プログラムの初期起動時に、上記のようなセキュリティ画面が表示されます。
ここで、「アクセスを許可する」ボタンをクリックして次へ遷移します。

A2. メール送信／音声再生ジョブ登録について

メール送信／音声再生ジョブ登録画面において、画面の左下あたりの「＋」ボタンをクリックすると下記のように拡張画面になります。

※送信先

デフォールト送信先に加え、２つ程の送信先を追加指定することが出来ます。

※送信テスト

指定した送信先に、テストメールの送信を行います。

入力したメールアドレスに誤りがないかのチェックをすることが可能です。

A3. コマンド(SENDUDPCMD.exe)の起動方法

コマンド(SENDUDPCMD.exe)の起動方法については、SENDUDPCMDReadme.TXT に記述してあります。
SENDUDPCMDReadme.TXT の内容は下記の通りです。

----------ここから----------

SENDUDPCMD.exe

==========

起動方法

SENDUDPCMD.exe <コマンド> <送信先 IP>

例)

SENDUDPCMD.exe

SENDUDPCMD.exe 1　　localhost にコマンド 01 を送信

SENDUDPCMD.exe 2 all　　ブロードキャストでコマンド 02 を送信

SENDUDPCMD.exe 3 localhost

SENDUDPCMD.exe 4 192.168.1.20

備考)

※本処理は同じシーケンス No で 5 回送信

※本コマンド送信前に同じように 5 回程ダミーコマンド(コマンド 00)を送信

----------ここまで----------